

2026年6月期は、消費行動の変化を機敏に捉え続けた国内リテール事業の成長と海外事業の収益改善により増収増益を達成。

2027年6月期は、さらなるマーケットシェアの拡大と将来成長に向けた投資を加速。

売上高

2兆4,453億円

価格戦略による客数増加やインバウンド需要の取り込みに加え、新規連結効果、国内外での様々な業態での新規出店拡大が寄与し、マーケットシェアが着実に拡大。これらの結果、売上高は2兆4,453億円（前期比8.8%増）となりました。

営業利益

1,748億円

価格競争力強化に向けた戦略推進やカネ美食品の連結子会社化により売上総利益率は低下したものの、PB/OEMや免税売上の拡大、国内外における生産性の向上により、営業利益は1,748億円（前期比7.7%増）と過去最高益を達成しました。

経常利益

1,775億円

為替差損が前年同期比で減少したこと、為替差益が前年同期比で増加したことなどから営業外收支戻（営業外収益-営業外費用）は27億円のプラスとなり、経常利益は1,775億円（同12.0%増）となりました。

当期純利益

1,101億円

当期純利益は1,101億円（前期比+196億円/+21.6%）と初の1,000億円を達成。利益創出力と財務基盤の高まりは今後の成長投資と株主還元拡大の原動力へ。

総資産

1兆6,024億円

現預金が413億円増加、商品及び製品が241億円増加、有形固定資産が142億円、無形固定資産が92億円増加した一方で、投資有価証券が100億円減少したことにより、総資産は1兆6,024億円（前期末比909億円増）となりました。

純資産

7,364億円

前期比と比較して1,124億円増加し、7,364億円となりました。これは主として、配当金の支払い及び親会社株主に帰属する当期純利益の計上による利益剰余金の増加が855億円、その他の包括利益累計額の為替換算調整勘定が128億円、非支配株主持分が132億円増加したことによります。

EPS

36.84円

収益体質の改革を継続した結果、1株当たり当期純利益（EPS）は、36.84円（年換算、前期比6.52円増、21.5%増）となりました。

ROE

16.8%

株主資本当期純利益率（ROE）は16.8%（年換算）となりました。

お買上客数

7億1,990万人

国内外の当社グループ各店舗をご利用いただいたお客さま（レジ通過客数）は、7億1,990万人となりました。消費者の節約志向や選別消費が強まるなか、当社グループ店舗の魅力が支持されたものと考えております。

店舗数

799店

国内では新規出店25店舗、閉店4店舗となりました。海外では、タイに1店舗、カリフォルニアに4店舗の合計5店舗を出店した一方、6店舗を閉店しました。この結果、当社グループの店舗数は国内676店舗、海外123店舗の合計799店舗となりました。

年間配当金

9.5円

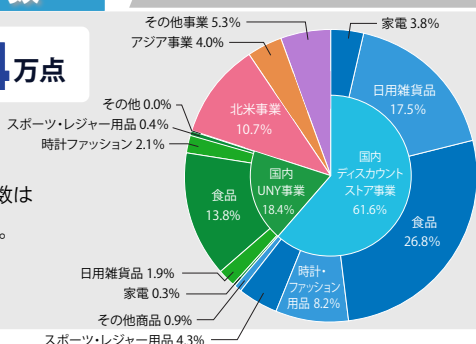
当社グループは、株主に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつとして認識しています。中間配当金（3円）を含めた当期の年間配当金は、9.5円（前期比2.5円増）を予定しています。

商品点数

54億224万点

当社グループが、当期間にお客さまの手元にお届けした商品点数は54億224万点となりました。

商品分類別売上高構成比



個人その他株主数

127,433人

個人その他株主が64,001人増加（前期末比200.9%）しました。株主優待制度の拡充やIRイベントの実施などを積極的に推進したことにより、個人投資家層の拡大が進んだものと認識しております。その結果、総株主数は前期末比64,696人増加し、129,698人となりました。なお、外国人株主の持株比率は、59.1%と前期末比1.2pt増加しました。

株主分類別持株数構成比

